

# 平成 25 年度春夏作芝関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

(公財) 日本植物調節剤研究協会

平成 25 年度春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成 25 年 11 月 19 日 (火) にメルパルク大阪において開催された。

この検討会には、試験場関係者 22 名、委託関係者 60 名ほか、計 89 名の参集を得て、除草剤 27 薬剤 (170 点)、

生育調節剤 3 薬剤 (21 点) について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

## 平成 25 年度春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

注) アダプティブは新たに判定された部分を示す

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種別 新・従 の別	試験担当場所 (○は試験中など 後)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
1. BAH-0902 マイクロブ セル ベンゾイリジン:38.7%  [BASFジャパン]	ベレニアム グラス	適用性 継続	札幌国際CC 埼玉スタジアム2002 静岡G研協会 新中国G研	ねらい 雑草発生前 - 一年生科 全般 対象 雑草 - 一年生広葉 全般 (科を除く) - 多年生科 - - 多年生広葉 - その他 -  設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期・雑草発生前 0.4mL <200-300mL> 0.5mL <200-300mL> 0.6mL <200-300mL> 対) パイオ水和剤 芝生育期・雑草発生前 0.075g <200-300mL>	処理 100 日 ~ 120 日 後に雑草調査を行 う、	実・継	(実) [春夏作: (コクサイバ、ノバ、バニョ グ) 一年生雑草 (科を除く)] ・ 芝生育期・雑草発生前 ・ 0.5~0.7mL <200~300mL>/㎡ ・ 土壌処理  [春夏作: (クナギ、ブーグ) グラス、ベレニアム グ) 一年生雑草 (科を除く)] ・ 芝生育期・雑草発生前 ・ 0.4~0.6mL <200~300mL>/㎡ ・ 土壌処理
	ベレニアム グラス	倍量薬害 継続	静岡G研協会 新中国G研	ねらい 倍量薬害 - 一年生科 全般 対象 雑草 - 一年生広葉 全般 (科を除く) - 多年生科 - - 多年生広葉 - その他 -  設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期・雑草発生前 0.6mL <200mL> 1.2mL <200mL> (倍量区) 1.2mL <400mL> (倍量区)			(継) ・ 薬害・薬害の確認 (コクサイバ、ノバ、バニョグ) ・ 倍量薬害試験での確認 (コクサイバ、ノバ、バニョグ) グラス、クナギ ブーグ) グラス ・ 適用試験での確認 (コクサイバ、ノバ、バニョグ) グラス、クナギ ブーグ) グラス、ベレニアムグ) グラス ・ 実証試験での確認 (ベレニアムグ) グラス ・ 萌芽期薬害の確認 (コクサイバ、ノバ、バニョグ) グラス ・ 高温期薬害の確認 (コクサイバ、ノバ、バニョグ) グラス、クナギ ブーグ) グラス、ベレニアムグ) グラス ・ 緑化ホへの影響の確認
	コクサイバ ノバ	実証試験 継続	J協同	ねらい 実証試験 - 一年生科 全般 対象 雑草 - 一年生広葉 全般 (科を除く) - 多年生科 - - 多年生広葉 - その他 -  設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期・雑草発生前 0.6mL <200mL> 対) 慣行	処理 100 日 ~ 120 日 後に雑草調査を行 う、参考として多年 生イネ科雑草、クナギ 科等の多年生広葉 雑草についても効 果確認を行う。		
2. BAH-1004 液 ベンゾジン:44%  [BASFジャパン]	日本芝	作用性 継続	東日本G研 J協同	ねらい ヒノキ 生育期 (複数回処理) 対象 雑草 - 一年生科 - - 一年生広葉 - - 多年生科 - - 多年生広葉 - その他 ヒノキ  設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 雑草生育期 0.5mL x 3 <200mL> 0.75mL x 3 <200mL> 1mL x 2 <200mL> 比) ナイト液剤 雑草生育期 0.5mL x 2 <200mL>	展着剤を加用する、	実・継	(実) [春夏作: (コクサイバ、ノバ) 一年生 広葉雑草 (科を除く)、ヒノキ] ・ 芝生育期 ・ 雑草生育期 ・ 0.5~1.0mL <100~200mL>/㎡ ・ 茎葉処理  (継) ・ 倍量薬害試験での確認 (コクサイバ、ノバ) ・ 適用試験での確認 (コクサイバ、ノバ) ・ 実証試験での確認 (コクサイバ、ノバ) ・ 高温期薬害の確認 (コクサイバ、ノバ)

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [添記者]	作物名	試験の 種別・種別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容	
3. BAH-121 フォーフ 新規化合物:342g/L  [BASFジャパン]	ペントフ ラス	作用性 系統	J福岡 (1)	ねらい	散布後7, 14, 30日後 に調査。 雑草再生が見られ 始めた時に2回目処 理を行う。 展着剤を加分。	-	(作用性)	
				対象 雑草				雑草生育期・ <i>ヒバ</i> 対象 一年生(株) <i>ヒバ</i> 一年生広葉 多年生(株) 多年生広葉 その他
				設計 薬量 (水量) /㎡				茎葉処理 芝生育期・雑草生育期 0.02mL×2 <100-200mL> 0.04mL×2 <100-200mL> 0.06mL×2 <100-200mL> 0.08mL×2 <100-200mL> 対) エキゾ7 芝生育期・雑草生育期 0.1mL x 2 <100-200mL>
ペントフ ラス	作用性 系統	J福岡 かこしま空港CC (2)	ねらい	散布後7, 14, 30日後 に調査。 雑草再生が見られ 始めた時に2回目処 理を行う。 展着剤を加分。	-			
			対象 雑草				雑草生育期・ <i>マク</i> 対象 一年生(株) 一年生広葉 多年生(株) 多年生広葉 その他	
			設計 薬量 (水量) /㎡				茎葉処理 芝生育期・雑草生育期 0.01mL×2 <100-200mL> 0.02mL×2 <100-200mL> 0.04mL×2 <100-200mL> 対) エキゾ7 芝生育期・雑草生育期 0.4mL x 2 <100-200mL>	
ペントフ ラス	薬害 新規	J福岡 (1)	ねらい	散布後7, 14, 30日後 および適用(2回)延 び調査。 展着剤を加分。	-			
			対象 雑草				境界薬量値の検討 一年生(株) 一年生広葉 多年生(株) 多年生広葉 その他	
			設計 薬量 (水量) /㎡				茎葉処理 芝生育期・雑草生育期 0.06mL×2 <100-200mL> 0.12mL×2 <100-200mL> 0.18mL×2 <100-200mL> 0.24mL×2 <100-200mL>	
4. BEH-447 フォーフ 374.5g/L  [ハインツロップライオス]	コライ ン	適用性 系統	東日本G研 関西G研 新中G研 J福岡 (4)	ねらい	処理時の草丈、株の 密度を記載する。 処理後30-60日程度 で調査を行う。	災・雑 草	実) [彩夏作:(コライン・ <i>ジバ</i> ・)一年生 雑草・多年生広葉雑草] ・芝生育期・雑草生育期 ・0.2~0.25mL <100~150mL>/㎡ ・茎葉処理  【春夏作:( <i>ハニエグ</i> ・ <i>ラ</i> )一年生雑 草・多年生広葉雑草] ・芝生育期・雑草生育期 ・0.15~0.25mL <100~200mL>/㎡ ・茎葉処理	
				対象 雑草				<i>ス</i> ・ <i>リ</i> 類 一年生(株) 一年生広葉 多年生(株) <i>ス</i> ・ <i>リ</i> 類 多年生広葉 その他
				設計 薬量 (水量) /㎡				茎葉処理 芝生育期・雑草生育期 0.2mL <100~200mL> 0.25mL <100~200mL> 0.3mL <100~200mL> 対) エキゾ7顆粒水和 芝生育期・雑草生育期 0.0045g <100~200mL>
	コライ ン	適用性 系統	東日本G研 関西G研 新中G研 西日本G研 (4)	ねらい	処理時の草丈を記 載する。 処理後30-60日程度 で調査を行う。	雑	・低薬量(0.15mL)での効果の確認 (コライン・ <i>ジバ</i> ) ・ <i>ス</i> ・ <i>リ</i> 類に対する効果の確認 (コライン・ <i>ラ</i> ) ・ <i>ラ</i> に対する効果の確認 (コライン・ <i>ジバ</i> ) ・適用試験での確認 (コライン・ <i>ジバ</i> ・ <i>ハニエグ</i> ) ・実証試験での確認 (コライン・ <i>ジバ</i> ・ <i>ハニエグ</i> ) ・萌芽期薬害の確認 (コライン・ <i>ジバ</i> ・ <i>ハニエグ</i> ) ・高温期薬害の確認 (コライン・ <i>ジバ</i> ・ <i>ハニエグ</i> )	
				対象 雑草				<i>ラ</i> ・ <i>リ</i> 類 一年生(株) 一年生広葉 多年生(株) <i>ラ</i> ・ <i>リ</i> 多年生広葉 その他
				設計 薬量 (水量) /㎡				茎葉処理 芝生育期・雑草生育期 0.2mL <100~200mL> 0.25mL <100~200mL> 0.3mL <100~200mL> 対) エキゾ7顆粒水和 芝生育期・雑草生育期 0.0045g <100~200mL>
コライ ン	適用性 系統	東日本G研 関西G研 新中G研 西日本G研 (4)	ねらい	処理時の草丈を記 載する。 処理後30-60日程度 で調査を行う。	-			
			対象 雑草				<i>ラ</i> ・ <i>リ</i> 類 一年生(株) 一年生広葉 多年生(株) <i>ラ</i> ・ <i>リ</i> 多年生広葉 その他	
			設計 薬量 (水量) /㎡				茎葉処理 芝生育期・雑草生育期 0.2mL <100~200mL> 0.25mL <100~200mL> 0.3mL <100~200mL> 対) エキゾ7顆粒水和 芝生育期・雑草生育期 0.0045g <100~200mL>	

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託名]	作物名	試験の 種別・種 の別	試験担当場所 ○は試験中など (記)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容	
5. BEH-507 フロアブル イソクサリン:19.1% [パ・エス・ケイ] (イオン)	パ・エス・ケイ タダダ	適用性 継続	埼玉スタジアム2002 静岡G場協会 新中國G研 西日本G研	ねらい	除草剤は不要。 処理後90~120日 調査を行う。	実・継	[春夏作: (コウライハ、シバ、パ・エス・ケイ) 一年生雑草] - 芝生育期・雑草発生前 - 0.02~0.03mL/200~300mL/m <sup>2</sup> - 土壌処理  [秋作: (コウライハ、シバ、パ・エス・ケイ) 一年生雑草] - 芝生育期・雑草発生前 - 0.02~0.03mL/200~300mL/m <sup>2</sup> - 土壌処理  [冬作: (コウライハ、シバ、パ・エス・ケイ) 一年生雑草] - 芝生育期・雑草発生前 - 0.02~0.03mL/200~300mL/m <sup>2</sup> - 土壌処理  [春夏作: (コウライハ、シバ、パ・エス・ケイ) 一年生雑草] - 芝生育期・雑草発生前 - 0.02~0.03mL/200~300mL/m <sup>2</sup> - 土壌処理  [秋作: (コウライハ、シバ、パ・エス・ケイ) 一年生雑草] - 芝生育期・雑草発生前 - 0.02~0.03mL/200~300mL/m <sup>2</sup> - 土壌処理  [冬作: (コウライハ、シバ、パ・エス・ケイ) 一年生雑草] - 芝生育期・雑草発生前 - 0.02~0.03mL/200~300mL/m <sup>2</sup> - 土壌処理	
				対象雑草				一年生(科) 全般 (ヒシバ等)
				設計薬量 (水量) /m <sup>2</sup>				土壌処理 芝生育期・雑草発生前 0.02mL <200~300mL> 0.025mL <200~300mL> 0.03mL <200~300mL> 対) フロアブルイソクサリン 芝生育期・雑草発生前 0.15mL <200~300mL>
				その他				---
パ・エス・ケイ タダダ	適用性 継続	関西G研 新中國G研	ねらい	適用薬害試験4回目 の散布。				
			対象雑草				一年生(科) 全般 (ヒシバ等)	
			設計薬量 (水量) /m <sup>2</sup>				土壌処理 芝生育期 0.03mL <200~300mL>	
			その他				---	
パ・エス・ケイ タダダ	作用性 継続	埼玉スタジアム2002 西日本G研	ねらい	萌芽期薬害	パ・エス・ケイ タダダ萌芽 期に散布する。			
			対象雑草				一年生(科) 全般 (ヒシバ等)	
			設計薬量 (水量) /m <sup>2</sup>				土壌処理 芝萌芽期 0.02mL <200~300mL> 0.025mL <200~300mL> 0.03mL <200~300mL>	
			その他				---	
パ・エス・ケイ タダダ	作用性 継続	静岡G場協会 新中國G研	ねらい	高温期薬害	夏季高温期に散布 する。			
			対象雑草				一年生(科) 全般 (ヒシバ等)	
			設計薬量 (水量) /m <sup>2</sup>				土壌処理 夏季高温期 0.02mL <200~300mL> 0.025mL <200~300mL> 0.03mL <200~300mL>	
			その他				---	
6. BEH-1301 フロアブル 新規化合物:41.6% [パ・エス・ケイ] (イオン)	日本芝 (コウライハ、 シバ)	作用性 新規	他調研	ねらい	雑草発生前	継	[春夏作: (コウライハ、シバ) 一年生雑草] - 芝生育期・雑草発生前 - 0.02~0.03mL/200~300mL/m <sup>2</sup> - 土壌処理  [秋作: (コウライハ、シバ) 一年生雑草] - 芝生育期・雑草発生前 - 0.02~0.03mL/200~300mL/m <sup>2</sup> - 土壌処理  [冬作: (コウライハ、シバ) 一年生雑草] - 芝生育期・雑草発生前 - 0.02~0.03mL/200~300mL/m <sup>2</sup> - 土壌処理	
				対象雑草				一年生(科) 全般 (ヒシバ等)
				設計薬量 (水量) /m <sup>2</sup>				土壌処理 芝生育期・雑草発生前 0.1mL <200~300mL> 0.2mL <200~300mL> 0.3mL <200~300mL> 対) フロアブルイソクサリン 芝生育期・雑草発生前 0.1mL <200~300mL>
				その他				---
コウライハ	適用性 新規	東日本G研 関西G研	ねらい	雑草発生前	展着剤不要。 処理後90~120日 調査。			
			対象雑草				一年生(科) 全般 (ヒシバ等)	
			設計薬量 (水量) /m <sup>2</sup>				土壌処理 芝生育期・雑草発生前 0.2mL <200~300mL> 0.25mL <200~300mL> 0.3mL <200~300mL> 対) フロアブルイソクサリン 芝生育期・雑草発生前 0.1mL <200~300mL>	
			その他				---	
シバ	適用性 新規	東日本G研 関西G研	ねらい	雑草発生前	展着剤不要。 処理後90~120日 調査。			
			対象雑草				一年生(科) 全般 (ヒシバ等)	
			設計薬量 (水量) /m <sup>2</sup>				土壌処理 芝生育期・雑草発生前 0.2mL <200~300mL> 0.25mL <200~300mL> 0.3mL <200~300mL> 対) フロアブルイソクサリン 芝生育期・雑草発生前 0.1mL <200~300mL>	
			その他				---	

A. 除草剤

薬剂名 有効成分および 含有率(%) (委託者)	作物名	試験の 種・経 新・種 の 別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判定	判定内容
7. BEH-1302顆粒水和 新規化合物:60%  【イ・エチロップ・キエンズ】	日本芝 (コクサイ・ ノシバ)	作用性 新規	植調研 (1)	ねらい 雑草発生前 対象 雑草 一年生(株) 全般(ノシバ等) 一年生(葉) 全般(ノシバ・ツク・ナギ・ソコ科・キ科等) 多年生(株) --- 多年生(葉) --- その他 --- 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期・雑草発生前 0.1g <200~300mL> 0.2g <200~300mL> 0.3g <200~300mL> 対) フルオキサロアラム 芝生育期・雑草発生前 0.1mL <200~300mL>	処理後90~120日で 調査。	雑	雑) ・効果薬害の確認 (コクサイ・ノシバ)
	コライソ ン	適用性 新規	東日本G研 関西G研	(2) ねらい 雑草発生前 対象 雑草 一年生(株) 全般(ノシバ等) 一年生(葉) 全般(ノシバ・ツク・ナギ・ソコ科・キ科等) 多年生(株) --- 多年生(葉) --- その他 --- 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期・雑草発生前 0.2g <200~300mL> 0.25g <200~300mL> 0.3g <200~300mL> 対) フルオキサロアラム 芝生育期・雑草発生前 0.1mL <200~300mL>	除草剤不要。 処理後90~120日で 調査。		
	ノシバ	適用性 新規	東日本G研 関西G研	(2) ねらい 雑草発生前 対象 雑草 一年生(株) 全般(ノシバ等) 一年生(葉) 全般(ノシバ・ツク・ナギ・ソコ科・キ科等) 多年生(株) --- 多年生(葉) --- その他 --- 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期・雑草発生前 0.2g <200~300mL> 0.25g <200~300mL> 0.3g <200~300mL> 対) フルオキサロアラム 芝生育期・雑草発生前 0.1mL <200~300mL>	除草剤不要。 処理後90~120日で 調査。		
8. CH-900 フォーフ・ メフエンストロ-6:40%  【エス・ディ・イー・エス・ハ・イ・チ・ケ ク】	コライソ ン	適用性 経続	東日本G研 植調研 関西G研 かごしま空港CC (4)	ねらい 雑草 対象 雑草 一年生(株) --- 一年生(葉) --- 多年生(株) --- 多年生(葉) --- その他 エキダ 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期 エキダ 発生前~発生前 0.25mL→0.25mL (2回処理) <200~300mL> 0.375mL→0.375mL (2回処理) <200~300mL> 0.5mL→0.5mL (2回処理) <200~300mL> 対) ノシバ乳剤 芝生育期 エキダ 発生前~発生前 0.3mL→0.3mL (2回処理) <200mL~300mL>	薬剤処理は2回実施 する。 1回目:エキダ 発 生前、2回目:1回目処 理の1ヵ月後(エキダ) 発生前(発生前初期) 高、2回目処理45~ 60日後を目処に調 査。	実・雑	実) 【春夏作(コライソ・ノシバ)一年生作 科雑草] ・芝生育期・雑草発生前 ・0.25~0.5mL<200~300mL>/㎡ ・土壌処理 【春夏作(コライソ)エキダ】 ・芝生育期 1回目:雑草発生前 2回目:雑草発生前~発生前 ・0.25~0.5mL<200~300mL>/㎡(2回 ・土壌処理 注) 散布間隔は1ヶ月を目安  雑) ・実証試験での確認 ・2回処理での効果に対する効果の 確認(コライソ)
	ベントグ ラス	適用性 経続	太平洋・薬野里C 静岡G総協会 新中園G研 かごしま空港CC (4)	ねらい 雑草 対象 雑草 一年生(株) --- 一年生(葉) --- 多年生(株) --- 多年生(葉) --- その他 雑類 設計 薬量 (水量) /㎡ 葉面処理 芝生育期 雑類発生前初期 2g <500mL> 3g <500mL> 2g→2g <500mL> 比) プロクノールWDG 芝生育期 雑類発生前初期 3g→3g <500mL>	雑類の発生前に 散布する。 連用処理は前回散 布14日後を目安に 雑類が発生前に 散布する。	実・雑	実) 【ベントグラス 雑類】 ・芝生育期・雑類発生前初期 ・2~3g<500mL>/㎡ ・葉面処理  雑) ・連用試験での確認(ベントグラス) ・実証試験での確認(ベントグラス) ・高温期薬害の確認(ベントグラス)

A. 除稈剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類・種 別	試験担当場所 (△は試験中など (取))	ねらい	試験設計等	備考	判定	判定内容																
10. GG-155 顆粒水和 イソキサゾロン:75%  [住化グループ]	コウライソ バ	適用性 継続	福島石川CC 東日本G研 新中国G研	ねらい (3)	<p>レシバ発生前</p> <p>対象雑草</p> <table border="1"> <tr><td>一年生(株)</td><td>レシバ</td></tr> <tr><td>一年生広葉</td><td>-</td></tr> <tr><td>多年生(株)</td><td>-</td></tr> <tr><td>多年生広葉</td><td>-</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td></tr> </table> <p>設計薬量 (水量) /㎡</p> <table border="1"> <tr><td>茎葉兼土壌処理 雑草発生前</td><td>0.1g &lt;200~300mL&gt;</td></tr> <tr><td></td><td>0.15g &lt;200~300mL&gt;</td></tr> <tr><td></td><td>0.2g &lt;200~300mL&gt;</td></tr> </table>	一年生(株)	レシバ	一年生広葉	-	多年生(株)	-	多年生広葉	-	その他	-	茎葉兼土壌処理 雑草発生前	0.1g <200~300mL>		0.15g <200~300mL>		0.2g <200~300mL>	調査は60日を希望するが、効力持続期間を確認しながら調査日数の短縮・延長を希望。	実・雑	<p>【春夏作: (コウライソ、レシバ、ベントグ ラス) 一年生広葉雑草、多年生広葉雑 草】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 芝生育期、雑草発生前～発生初期</li> <li>・ 0.1~0.2g&lt;200~300mL&gt;/㎡</li> <li>・ 茎葉兼土壌処理</li> </ul> <p>【春夏作: (コウライソ、レシバ)レシバ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 芝生育期、雑草発生初期</li> <li>・ 0.1~0.2g&lt;200~300mL&gt;/㎡</li> <li>・ 茎葉兼土壌処理</li> </ul>
	一年生(株)	レシバ																						
一年生広葉	-																							
多年生(株)	-																							
多年生広葉	-																							
その他	-																							
茎葉兼土壌処理 雑草発生前	0.1g <200~300mL>																							
	0.15g <200~300mL>																							
	0.2g <200~300mL>																							
コウライソ バ	適用性 継続	東日本G研 関西G研 福岡	ねらい (3)	<p>コケ類発生初期</p> <p>対象雑草</p> <table border="1"> <tr><td>一年生(株)</td><td>-</td></tr> <tr><td>一年生広葉</td><td>-</td></tr> <tr><td>多年生(株)</td><td>-</td></tr> <tr><td>多年生広葉</td><td>-</td></tr> <tr><td>その他</td><td>コケ類</td></tr> </table> <p>設計薬量 (水量) /㎡</p> <table border="1"> <tr><td>土壌処理 コケ発生初期</td><td>0.1g &lt;200~300mL&gt;</td></tr> <tr><td></td><td>0.2g &lt;200~300mL&gt;</td></tr> <tr><td></td><td>0.3g &lt;200~300mL&gt;</td></tr> </table>	一年生(株)	-	一年生広葉	-	多年生(株)	-	多年生広葉	-	その他	コケ類	土壌処理 コケ発生初期	0.1g <200~300mL>		0.2g <200~300mL>		0.3g <200~300mL>	効果発現から再生の経過観察(処理後14・30・60・90日)、90日以上効果持続が確認できれば効果持続期間の確認。観察時は草種を確認。	雑	<p>【コケ類に対する効果の確認 (コウライソ)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コケ類に対する効果の確認 (コウライソ) <li>・ レシバに対する効果の確認 (ベントグラス)</li> <li>・ 連用試験での確認 (コウライソ、レシバ、ベントグラス)</li> <li>・ 実証試験での確認 (コウライソ、レシバ)</li> <li>・ 前時期薬害の確認 (ベントグラス)</li> <li>・ 高温期薬害の確認 (ベントグラス)</li> <li>・ 緑化水への影響の確認</li> </li></ul>	
一年生(株)	-																							
一年生広葉	-																							
多年生(株)	-																							
多年生広葉	-																							
その他	コケ類																							
土壌処理 コケ発生初期	0.1g <200~300mL>																							
	0.2g <200~300mL>																							
	0.3g <200~300mL>																							
11. HAT-211 液 アツタ:A:0.1% MCPP-K:0.2%  [保土谷アグロテック]	コウライソ バ	適用性 継続	泉パナカカCC 福島石川CC 福岡研 関西G研 門司CC	ねらい (5)	<p>雑草生育期</p> <p>対象雑草</p> <table border="1"> <tr><td>一年生(株)</td><td>全般</td></tr> <tr><td>一年生広葉</td><td>全般</td></tr> <tr><td>多年生(株)</td><td>-</td></tr> <tr><td>多年生広葉</td><td>全般</td></tr> <tr><td>その他</td><td>スギナ</td></tr> </table> <p>設計薬量 (水量) /㎡</p> <p>茎葉処理 芝生育期、雑草生育期(高さ10cm以下) 100mL&lt;希釈せずそのまま散布&gt; 150mL&lt;希釈せずそのまま散布&gt; 200mL&lt;希釈せずそのまま散布&gt; 対) シーブアップAL剤 芝生育期、雑草生育期 100mL&lt;希釈せずそのまま散布&gt;</p>	一年生(株)	全般	一年生広葉	全般	多年生(株)	-	多年生広葉	全般	その他	スギナ		実・雑	<p>【春夏作: (コウライソ) 一年生(株)雑 草、多年生広葉雑草、スギナ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 芝生育期、</li> <li>・ 雑草生育期</li> <li>・ 100~200mL&lt;希釈せずそのまま散布&gt;/㎡</li> <li>・ 茎葉処理</li> </ul> <p>【秋作: (コウライソ) 一年生(株)雑草に対する効果の確認 (コウライソ)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 倍量薬害試験での確認 (コウライソ)</li> <li>・ 連用試験での確認 (コウライソ)</li> <li>・ 実証試験での確認 (コウライソ)</li> <li>・ 前時期薬害の確認 (コウライソ)</li> <li>・ 高温期薬害の確認 (コウライソ)</li> <li>・ 緑化水への影響の確認</li> </ul>						
	一年生(株)	全般																						
一年生広葉	全般																							
多年生(株)	-																							
多年生広葉	全般																							
その他	スギナ																							
コウライソ バ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 福岡	ねらい (3)	<p>雑草発生初期</p> <p>対象雑草</p> <table border="1"> <tr><td>一年生(株)</td><td>全般</td></tr> <tr><td>一年生広葉</td><td>全般</td></tr> <tr><td>多年生(株)</td><td>-</td></tr> <tr><td>多年生広葉</td><td>全般</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td></tr> </table> <p>設計薬量 (水量) /㎡</p> <p>土壌処理 芝生育期、雑草発生初期 10g 15g 20g 対) ベントグラス剤 芝生育期、雑草発生初期 10g</p>	一年生(株)	全般	一年生広葉	全般	多年生(株)	-	多年生広葉	全般	その他	-		雑	<p>【効果、薬害の確認 (コウライソ)】</p>							
一年生(株)	全般																							
一年生広葉	全般																							
多年生(株)	-																							
多年生広葉	全般																							
その他	-																							
12. HAT-218 粒 DCNY: 2.0%  [保土谷アグロテック]	コウライソ バ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 福岡	ねらい (3)	<p>雑草発生初期</p> <p>対象雑草</p> <table border="1"> <tr><td>一年生(株)</td><td>全般</td></tr> <tr><td>一年生広葉</td><td>全般</td></tr> <tr><td>多年生(株)</td><td>-</td></tr> <tr><td>多年生広葉</td><td>全般</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td></tr> </table> <p>設計薬量 (水量) /㎡</p> <p>土壌処理 芝生育期、雑草発生初期 10g 15g 20g 対) ベントグラス剤 芝生育期、雑草発生初期 10g</p>	一年生(株)	全般	一年生広葉	全般	多年生(株)	-	多年生広葉	全般	その他	-		雑	<p>【効果、薬害の確認 (コウライソ)】</p>						
	一年生(株)	全般																						
一年生広葉	全般																							
多年生(株)	-																							
多年生広葉	全般																							
その他	-																							
ベントグ ラス	適用性 継続	泉パナカカCC 東日本G研 自社試験	ねらい (3)	<p>レシバ発生前(散布水量拡大)</p> <p>対象雑草</p> <table border="1"> <tr><td>一年生(株)</td><td>レシバ</td></tr> <tr><td>一年生広葉</td><td>-</td></tr> <tr><td>多年生(株)</td><td>-</td></tr> <tr><td>多年生広葉</td><td>-</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td></tr> </table> <p>設計薬量 (水量) /㎡</p> <table border="1"> <tr><td>茎葉兼土壌処理 芝生育期 レシバ発生前</td><td>1.0mL &lt;100mL&gt;</td></tr> <tr><td></td><td>1.5mL &lt;100mL&gt;</td></tr> <tr><td></td><td>2.0mL &lt;100mL&gt;</td></tr> </table> <p>対) アツタ:アツタ77% ベントグラス生育期レシバ発生前 2.0mL &lt;200mL&gt;</p>	一年生(株)	レシバ	一年生広葉	-	多年生(株)	-	多年生広葉	-	その他	-	茎葉兼土壌処理 芝生育期 レシバ発生前	1.0mL <100mL>		1.5mL <100mL>		2.0mL <100mL>	調査は30日~40日程度で行う。	実・雑	<p>【春夏作: (ベントグラス)レシバ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 芝生育期、</li> <li>・ レシバ発生前～発生初期</li> <li>・ 1~2mL&lt;200~300mL&gt;/㎡</li> <li>・ 茎葉兼土壌処理</li> </ul> <p>※3回処理にて効果および芝(ベントグ ラス)に対する安全性が確認された</p> <p>【秋作: (ベントグラス)レシバ発生前~初期での散布水量 100mL処理での効果、薬害について 薬害変動の確認 (ベントグラス)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 倍量薬害試験での確認 (ベントグラス)</li> <li>・ 実証試験での確認 (ベントグラス)</li> <li>・ 前時期薬害の確認 (ベントグラス)</li> <li>・ 高温期薬害の確認 (ベントグラス)</li> </ul>	
一年生(株)	レシバ																							
一年生広葉	-																							
多年生(株)	-																							
多年生広葉	-																							
その他	-																							
茎葉兼土壌処理 芝生育期 レシバ発生前	1.0mL <100mL>																							
	1.5mL <100mL>																							
	2.0mL <100mL>																							
ベントグ ラス	適用性 継続	泉パナカカCC 東日本G研 自社試験	ねらい (3)	<p>レシバ生育初期(散布水量拡大)</p> <p>対象雑草</p> <table border="1"> <tr><td>一年生(株)</td><td>レシバ</td></tr> <tr><td>一年生広葉</td><td>-</td></tr> <tr><td>多年生(株)</td><td>-</td></tr> <tr><td>多年生広葉</td><td>-</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td></tr> </table> <p>設計薬量 (水量) /㎡</p> <table border="1"> <tr><td>茎葉兼土壌処理 芝生育期 レシバ発生初期</td><td>1.0mL &lt;100mL&gt;</td></tr> <tr><td></td><td>1.5mL &lt;100mL&gt;</td></tr> <tr><td></td><td>2.0mL &lt;100mL&gt;</td></tr> </table> <p>対) アツタ:アツタ77% ベントグラス生育期レシバ発生初期 2.0mL &lt;200mL&gt;</p>	一年生(株)	レシバ	一年生広葉	-	多年生(株)	-	多年生広葉	-	その他	-	茎葉兼土壌処理 芝生育期 レシバ発生初期	1.0mL <100mL>		1.5mL <100mL>		2.0mL <100mL>	レシバ発生初期(レシバ乳以下)で処理を行う。調査は30日~40日程度で行う。	雑	<p>【効果、薬害の確認 (ベントグラス)】</p>	
一年生(株)	レシバ																							
一年生広葉	-																							
多年生(株)	-																							
多年生広葉	-																							
その他	-																							
茎葉兼土壌処理 芝生育期 レシバ発生初期	1.0mL <100mL>																							
	1.5mL <100mL>																							
	2.0mL <100mL>																							

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種別 新・経 別	試験担当場所 ◇試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
14. RUI-114顆粒水和 フェキサメタール75.0% [理研ケーン]	コライソ ハ	適用性 継続	東日本G研 植調研 新中道G研 J協司	ねらい ヒメマダ発生前～初期(2回処理) 対象 雑草 一年生科 ー 一年生広葉 ー 多年生科 ー 多年生広葉 ー その他 ヒメマダ 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 1回目:ヒメマダ発生前、 2回目:ヒメマダ発生前～初期(芝生育期) 0.15g×2回<200～300mL> 0.2g×2回<200～300mL> 0.3g×2回<200～300mL> 対) 一任	1回目の処理は雑草 発生前に行い、2回 目の処理は1回目処 理後45～60日後を 目安に行う。 調査は2回目処理時 と、2回目処理後60 日程度で行う。	実・雑	(実) [春夏作: (コライソハ、ジハハ)一年生 材料雑草] ・芝生育期、雑草発生前 ・0.15～0.3g <200～300mL>/㎡ ・土壌処理 [春夏作: (ハミマダグダラ)ジハハ] ・芝生育期、雑草発生前 ・0.15～0.3g <200～300mL>/㎡ ・土壌処理 [春夏作: (コライソハ)ヒメマダ] 1回目:雑草発生前 2回目:雑草発生前～発生初期 ・0.15～0.3g<200～300mL>/㎡2回 ・土壌処理 注) 散布間隔は45～60日を目安 雑) ・同処理でのヒメマダに対する効果・薬 性の確認(コライソハ) ・倍量試験での確認 (コライソハ、ジハハ、ハミマダグダラ) ・連用試験での確認 (コライソハ、ジハハ、ハミマダグダラ) ・実証試験での確認 (コライソハ、ジハハ、ハミマダグダラ) ・萌芽期調査の確認 (コライソハ、ジハハ、ハミマダグダラ) ・高温期調査の確認 (コライソハ、ジハハ、ハミマダグダラ) ・緑化水への影響の確認
15. KUI-132 フォアフル 既知化合物A:34.8% [ケイ化学工業]	日本芝	作用性 新規	植調研	ねらい 雑草発生前(後草スペクトラムの確認) 対象 雑草 一年生科 全般 一年生広葉 全般 多年生科 ー 多年生広葉 ー その他 ー 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.3mL<200～300mL> 0.4mL<200～300mL> 0.6mL<200～300mL> 対) ケイックフォアフル 芝生育期、雑草発生前 0.6mL<200～300mL>		雑	(雑) ・効果薬性の確認 (ジハハ)
	ジハハ	適用性 新規	東日本G研 J埼玉	ねらい 雑草発生前 対象 雑草 一年生科 全般 一年生広葉 ー 多年生科 ー 多年生広葉 ー その他 ー 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.3mL<200～300mL> 0.4mL<200～300mL> 0.6mL<200～300mL> 対) ケイックフォアフル 芝生育期、雑草発生前 0.6mL<200～300mL>	調査は処理後90日 程度に実施する。		
16. KUI-913 液 ビスジハハナリケル 3% [理研ケーン]	コライソ ハ	適用性 継続	J埼玉 新中道G研 自社試験	ねらい 雑草生育期 対象 雑草 一年生科 ー 一年生広葉 全般 多年生科 ー 多年生広葉 全般 その他 ー 設計 薬量 (水量) /㎡ 実薬処理 芝生育期、雑草生育期 0.5mL<100～200mL> 0.75mL<100～200mL> 1.0mL<100～200mL> 対) MCPP液剤 0.75mL<100～200mL>	処理40～50日後程 度で調査を行う。 使用箇所は道路の 法面(芝生地)およ びゴルフ場のラフ等を 想定。	実・雑	(実) [春夏作: (コライソハ、ジハハ)一年生 広葉雑草、多年生広葉雑草] ・芝生育期、雑草生育期 ・0.5～1.0mL<100～200mL>/㎡ ・実薬処理 注) コライソハでは一時的に変色する場 合がある 雑) ・倍量実証試験での確認 (コライソハ、ジハハ) ・連用試験での確認 (コライソハ、ジハハ) ・実証試験での確認 (コライソハ、ジハハ) ・萌芽期調査の確認 (コライソハ、ジハハ) ・高温期調査の確認 (コライソハ、ジハハ) ・緑化水への影響の確認
	ジハハ	適用性 継続	東日本G研 J埼玉 新中道G研	ねらい 雑草生育期 対象 雑草 一年生科 ー 一年生広葉 全般 多年生科 ー 多年生広葉 全般 その他 ー 設計 薬量 (水量) /㎡ 実薬処理 芝生育期、雑草生育期 0.5mL<100mL>、 0.75mL<100mL>、 1.0mL<100mL>、 0.5mL<200mL>、 0.75mL<200mL>、 1.0mL<200mL> 対) MCPP液剤 0.75mL<100～200mL>	処理40～50日後程 度で調査を行う。 使用箇所は道路の 法面(芝生地)およ びゴルフ場のラフ等を 想定。		

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【登録者】	作物名	試験の 種別・種 別	試験担当所 ↳は試験中など (数)	ねらい	試験設計等	備考	判定	判定内容
17. MON-151 乳 剤チピルメ:32% 【サカタ化学工業 日本】	コケリン ハ	適用性 継続	東日本G研 植調研 新中国G研 1福岡	(4) ねらい 対象 雑草 -一年生(併) - -一年生広葉 - -多年生(併) - -多年生広葉 - その他	ハス'の発生初期 設計 葉量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生初期 雑草発生初期 0.1mL <200-300mL> 0.15mL <200-300mL> 0.2mL <200-300mL> ※) 7' オキサジメチル 芝生前期 雑草発生初期(発生初期) 0.2mL <150-200mL>	ハス'の発生が1-2 枚程度生育して、 る状態までに散布。 調査は薬剤散布90 日後希望。	実・継 従 来 ど お り	[春夏作; (コケリンハ) / ハハ'] 一年生 雑草 ・ 芝生初期、雑草発生前 ・ 0.15~0.3mL <200~300mL>/㎡ ・ 土壌処理 [春夏作; (コケリンハ) / ハハ'] 一年生(体科 雑草) ・ 芝生初期、雑草発生前 ・ 0.075~0.1mL <200~300mL>/㎡ ・ 土壌処理 (注) ・ 効果の発現および低葉長(0.05mL での検出) ・ ハス'に対する効果の確認 (コケリンハ) / ハハ']
	ソハ	適用性 継続	東日本G研 植調研 新中国G研 1福岡	(4) ねらい 対象 雑草 -一年生(併) - -一年生広葉 - -多年生(併) - -多年生広葉 - その他	ハス'の発生初期 設計 葉量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生初期 雑草発生初期 0.1mL <200-300mL> 0.15mL <200-300mL> 0.2mL <200-300mL> ※) 7' オキサジメチル 芝生前期 雑草発生初期(発生初期) 0.2mL <150-200mL>	ハス'の発生が1-2 枚程度生育して、 る状態までに散布。 調査は薬剤散布90 日後希望。		
18. NR-29 水和 新規化合物:80% 【日本曹達】	ベントグ ラス	作用性 新規	東日本G研 1福岡	(2) ねらい 対象 雑草 -一年生(併) - -一年生広葉 - -多年生(併) - -多年生広葉 - その他 藻類	藻類発生初期 設計 葉量 <水量> /㎡ 茎葉処理 芝生初期、藻類発生初期 1.5g <1000mL> 2g <1000mL> 3g <1000mL> 1.5g×3回 <1000mL> 2g <500mL> ※) 7' オキサジメチル 芝生初期、藻類発生期 3g <500mL>	・ 3回処理区は14日 間隔で散布する。 ・ 各処理3日、7日、4 日後の効果薬害を 観察する。	継 (確)	・ 効果薬害の確認 (ベントグラス)
	ベントグ ラス	適用性 新規	太平洋C 実野里C 関西G研 新中国G研 3	(3) ねらい 対象 雑草 -一年生(併) - -一年生広葉 - -多年生(併) - -多年生広葉 - その他 藻類	藻類発生初期(3回処理) 設計 葉量 <水量> /㎡ 茎葉処理 芝生初期、藻類発生初期 1.5g×3回 <1000mL> 2g×3回 <1000mL> 3g×3回 <1000mL> ※) 7' オキサジメチル 芝生初期、藻類発生期 3g×3回 <500mL>	・ 14日間隔で3回散 布する。 ・ 各処理3日、7日、4 日後の効果薬害を 観察する。		
19. SB-201 乳 剤チピルメ:25% 【エス・エー・エス・パ イオケル】	ベントグ ラス	適用性 継続	(札幌国際CC) 旭島石川CC 東日本G研 静岡G研 新中国G研 5	(5) ねらい 対象 雑草 -一年生(併) ス' / ハハ' / ハ -一年生広葉 - -多年生(併) - -多年生広葉 - その他	ス' / ハハ' / ハの発生初期 設計 葉量 <水量> /㎡ 茎葉兼土壌処理 芝生初期 雑草発生初期 0.2mL~0.2mL(2回処理) <200-300mL> 0.3mL~0.3mL(2回処理) <200-300mL> 0.4mL(1回処理) <200-300mL>	2回処理の場合、1回目 の処理の約1ヵ月後に2回 目の処理を実施、1回処 理の場合、2回処理の1回 目の処理日に合わせる。 処理後経過を見ながら、 2回目処理後前日前後で 調査実施。(処理日の目 安として、可能な限り2 回目の処理が出現発 の1ヶ月前までに完す るようにする。)	実・継 (確)	[春夏作; (コケリンハ) / ハハ'] ・ 芝生初期、雑草発生前 ・ 0.2~0.4mL <200-300mL>/㎡ ・ 土壌処理 [春夏作; (ベントグラス) / ハハ'] ・ 芝生初期、雑草発生前 ・ 0.3~0.4mL <200-300mL>/㎡ ・ 土壌処理 [春夏作; (ベントグラス) / ハハ'] ・ 芝生初期、雑草発生前 ・ 0.2mL <200-300mL>/㎡(2回) ・ 土壌処理 注) 散布間隔は1ヶ月程度を目安とす る。 [春夏作; (ベントグラス) / ハハ'] ・ 芝生初期、雑草発生前 ・ 0.2~0.3mL <200-300mL>/㎡2回 ・ 0.4mL <200-300mL>/㎡ ・ 茎葉兼土壌処理 注) 散布間隔は1ヶ月程度を目安とす る。 (注) ・ 効果の発現に対する効果、薬害の確 認(ベントグラス) ・ 適用試験での確認(ベントグラス) ・ 実証試験での確認(ベントグラス)

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種・播 新・種 の別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
20. SB-217 顆粒水和 トリシアラム:30% アミホバリン:10%  [エヌ・アール・エス・パイヤ リ]	コウライソ ン	適用性 雑穀	東日本G研 J埼玉 関西G研 西日本G研 (4)	ねらい 雑草発生前 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.1g <200-300mL> 0.15g <200-300mL> 0.2g <200-300mL> 対) コナート 芝生育期 雑草発生前 0.2g <200mL>	処理100-120日前後 で調査。	実・雑 穀	実) (春夏作; (コウライソ、ソバ)一年生 雑穀) ・芝生育期、雑草発生前へ発生前期 ・0.1~0.2g<200~300mL>/㎡ ・土壌処理  雑) ・適用試験での確認 (コウライソ、ソバ) ・実証試験での確認 (コウライソ、ソバ) ・萌芽期被害の確認 (コウライソ、ソバ) ・高温期被害の確認 (コウライソ、ソバ) ・緑化水への影響の確認
	コウライソ ン	適用性 雑穀	東日本G研 J埼玉 関西G研 西日本G研 (4)	ねらい 雑草発生前 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.1g <200-300mL> 0.15g <200-300mL> 0.2g <200-300mL> 対) コナート 芝生育期 雑草発生前 0.3g <200mL>	処理90日前後で調 査。		
	ソバ	適用性 雑穀	福島石川CC 植調研 高知CC J福岡 (4)	ねらい 雑草発生前 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.1g <200-300mL> 0.15g <200-300mL> 0.2g <200-300mL> 対) コナート 芝生育期 雑草発生前 0.2g <200mL>	処理100-120日前後 で調査。		
	ソバ	適用性 雑穀	福島石川CC 植調研 新中国G研 J福岡 (4)	ねらい 雑草発生前 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.1g <200-300mL> 0.15g <200-300mL> 0.2g <200-300mL> 対) コナート 芝生育期 雑草発生前 0.3g <200mL>	処理90日前後で調 査。		
	コウライソ ン	倍量薬害 雑穀	東日本G研 J埼玉 (2)	ねらい 倍量薬害 対象 雑草 一年生(株) - 一年生広葉 - 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.2g <300mL> 0.4g <300mL> (倍量区) 0.4g <600mL> (倍量区)	処理後経過を見な がら処理後90日 前後で調査。		
ソバ	倍量薬害 雑穀	植調研 新中国G研 (2)	ねらい 倍量薬害 対象 雑草 一年生(株) - 一年生広葉 - 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.2g <300mL> 0.4g <300mL> (倍量区) 0.4g <600mL> (倍量区)	処理後経過を見な がら処理後90日 前後で調査。			



A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種別・雑 草・雑 草の別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
21. SB-2092 粒 197g/アラム:0.3% アミホバゾロン:0.2%  [ス・テ・イー・エス・ハイテック]	コクサイ ハ	適用性 雑草	東日本G研 J埼玉 関西G研 J福岡	(4) ねらい 雑草発生前 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生(葉) 全般 多年生(株) - 多年生(葉) - その他 設計 葉量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 10g 15g 20g ※) シバキープ II 芝生育期 雑草発生前 20g	処理120日前後で調査。	変・雑	(英) [春夏作; (コクサイハ、Jハハ) 一年生 雑草] ・芝生育期、雑草発生前～発生初期 ・10～20g/㎡ ・土壌処理  (株) ・適用試験での確認 (コクサイハ、Jハハ) ・実証試験での確認 (コクサイハ、Jハハ) ・萌芽期葉害の確認 (コクサイハ、Jハハ) ・高温期葉害の確認 (コクサイハ、Jハハ) ・緑化木への影響の確認
	コクサイ ハ	適用性 雑草	東日本G研 J埼玉 関西G研 J福岡	(4) ねらい 雑草発生初期 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生(葉) 全般 多年生(株) - 多年生(葉) - その他 設計 葉量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生初期 10g 15g 20g ※) シバキープ II 芝生育期 雑草発生初期 20g	処理120日前後で調査。		
	Jハハ	適用性 雑草	静岡G場協会 森林公園G場 新中国G研 J福岡	(4) ねらい 雑草発生前 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生(葉) 全般 多年生(株) - 多年生(葉) - その他 設計 葉量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 10g 15g 20g ※) シバキープ II 芝生育期 雑草発生前 20g	処理120日前後で調査。		
	Jハハ	適用性 雑草	静岡G場協会 森林公園G場 新中国G研 J福岡	(4) ねらい 雑草発生初期 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生(葉) 全般 多年生(株) - 多年生(葉) - その他 設計 葉量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生初期 10g 15g 20g ※) シバキープ II 芝生育期 雑草発生初期 20g	処理120日前後で調査。		
	コクサイ ハ	倍量葉害 雑草	東日本G研 J埼玉	(2) ねらい 対象 雑草 一年生(株) - 一年生(葉) - 多年生(株) - 多年生(葉) - その他 設計 葉量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 20g 40g (倍量区) 80g (4倍量区)	処理後経過を見ながら処理後90日前後で調査。		
Jハハ	倍量葉害 雑草	森林公園G場 新中国G研	(2) ねらい 対象 雑草 一年生(株) - 一年生(葉) - 多年生(株) - 多年生(葉) - その他 設計 葉量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 20g 40g (倍量区) 80g (4倍量区)	処理後経過を見ながら処理後90日前後で調査。			

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [承認者]	作物名	試験の 種・類 新・従 別	試験担当場所 (試験中など 枚)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
22. SB-861 顆粒水和剤 メトキサロイフラホリン (TPN):50% [スチーベス・バイファ]	ヘントグ ラス	適用性 継続	東日水G研 関西水G研 西日水G研	(3) ねらい 深根発生前(3回処理、散布水量拡大) 対象 雑草 一年生(株) - 一年生広葉 - 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 落葉 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生前期 深根発生前 2g (3回処理) <200mL 対) グラウンド顆粒水和剤 芝生前期 深根発生前 2g (3回処理) <500mL	約2週間おきに計3回処理し、効果の確認を継続。刈込み直後の散布は避ける。 2回目、3回目処理直前及び3回目処理2週間後に調査。	実・継	実) [コウリン] 雑類 ・芝生前期、 深根発生前 ・2g<500mL/㎡3回 ・土壌処理 注) 散布間隔は2週間が目安 [ヘントグラス] 雑類 ・芝生前期、 深根発生前 ・2g<200~500mL/㎡ 2~3回 ・土壌処理 注) 散布間隔は2週間が目安
	ヘントグ ラス	留意薬害 継続	東日水G研 西日水G研	(2) ねらい 留意薬害 一年生(株) - 一年生広葉 - 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生前期 深根発生前 2g (1回処理) <200mL 4g (1回処理) <200mL (留意区) 4g (1回処理) <400mL (留意区)	処理経過を見ながら7日後もしくは14日後で調査。刈込み直後の散布は避ける。	継	継) ・相同処理での年次変動の確認(コウリン) ・散布水量200mLでの年次変動の確認(ヘントグラス) ・通用試験での確認(コウリン、ヘントグラス) ・実証試験での確認(コウリン、ヘントグラス) ・萌芽期薬害の確認(コウリン、ヘントグラス)
23. SR-406 水和剤 メトキサロイフラホリン:80% [東洋化学]	ヘントグ ラス	適用性 新規	太平洋C交野里C 新中水G研 J協同	(3) ねらい 深根発生前~始期(3回処理) 対象 雑草 一年生(株) - 一年生広葉 - 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 落葉 設計 薬量 (水量) /㎡ 散布 芝生前期、深根発生前または落葉発生始期 1g (3回処理) <500mL 1.67g (3回処理) <500mL 2g (3回処理) <500mL 対) プロパノールWDG 芝生前期、深根発生前または落葉発生始期 2g (3回処理) <500mL	約2週間間隔で3回処理。 展着剤は不要。	継	継) ・効果薬害の確認(ヘントグラス)
24. SW-989 (L) 液剤 メトキサロイフラホリン:2.11% [三井化学]	ヘントグ ラス	適用性 継続	福島石川CC 東日水G研 新中水G研 関西水G研 西日水G研	(5) ねらい スズメノカタビラ生前期(3~6回処理) 対象 雑草 一年生(株) スズメノカタビラ 一年生広葉 - 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 (水量) /㎡ 基肥処理 スズメノカタビラ生前期 ①2週間おき3回処理 1. 0.0mL×3回 <100mL 1. 5mL×3回 <100mL 2. 0.0mL×3回 <100mL ②2週間おき6回処理 1. 0.0mL×6回 <100mL 1. 5mL×6回 <100mL 2. 0.0mL×6回 <100mL	第1回目の処理は3月末~4月初に行う。 試験は本剤を想定した条件(傾り、施肥)で行う。 効果および薬害の調査は処理前に逐次おこなう。 処理後一過性の観変化が見られる場合がありますが、その場合回復状況も観察する。 展着剤(1-77777777)等)を加用。 3回処理区では3回処理終了後も、6回処理区の調査時にあわせて調査。	実・継	実) [春夏作] (ヘントグラス) スズメノカタビラ ・芝生前期、スズメノカタビラ生前期 ・1~2mL<100mL/㎡ 6回 ・茎葉処理 注) ・散布間隔は2週間が目安 ・一時的に変色する 継) ・相同処理でのスズメノカタビラに対する効果の確認(ヘントグラス) ・実証試験での確認(ヘントグラス) ・高温期薬害の確認(ヘントグラス)
	ヘントグ ラス	留意薬害 継続	東日水G研 関西水G研	(2) ねらい 留意薬害 一年生(株) - 一年生広葉 - 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉処理 スズメノカタビラ生前期 2. 0mL <100mL 4. 0mL <100mL (留意区) 4. 0mL <200mL (留意区)		実・継	実) [春夏作] (コウリン、スズメノカタビラ) 一年生雑草 ・芝生前期、雑草発生初期 ・0.02~0.05mL<100~200mL/㎡ ・茎葉兼土壌処理 継) ・年次変動の確認(コウリン) ・留意薬害試験での確認(コウリン、スズメノカタビラ) ・通用薬害試験での確認(コウリン、スズメノカタビラ) ・実証試験での確認(コウリン、スズメノカタビラ) ・萌芽期薬害の確認(コウリン、スズメノカタビラ) ・高温期薬害の確認(コウリン、スズメノカタビラ) ・緑化水への影響の確認
25. SY-192 フロアクトリドプロキシメスフロキサドリアム塩:10% [ジョンソン・カンパニー]	ジバ	適用性 継続	J協同 門司CC	(2) ねらい 雑草発生初期(年次変動の確認) 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉兼土壌処理 芝生前期、雑草発生初期 0. 02mL <100~200mL 0. 025mL <100~200mL 0. 05mL <100~200mL 対) ミネマト顆粒水和剤 芝生前期、雑草発生初期 0. 0045g <150~250mL	最終調査は処理後90日程度。	実・継	実) [春夏作] (コウリン、ジバ) 一年生雑草 ・芝生前期、雑草発生初期 ・0.02~0.05mL<100~200mL/㎡ ・茎葉兼土壌処理 継) ・年次変動の確認(コウリン) ・留意薬害試験での確認(コウリン、ジバ) ・通用薬害試験での確認(コウリン、ジバ) ・実証試験での確認(コウリン、ジバ) ・萌芽期薬害の確認(コウリン、ジバ) ・高温期薬害の確認(コウリン、ジバ) ・緑化水への影響の確認

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・舊 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判定	判定内容
26. SV1-229 液 7-フェナメド 30.0% NDBA 39.9% 塩・3.3%  [オシダ・シタダ・ヤマト 保土谷UPL]	ソシバ	適用性 新規	徳島研 1福岡	ねらい 雑草発生初期 対象 雑草 一年生(株) - 一年生(葉) - 多年生(株) - 多年生(葉) - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉処理 芝生初期、雑草発生初期 0.45mL <200-300mL> 0.6mL <200-300mL> 0.75mL <200-300mL> 対) アーザン液剤 芝生初期、雑草発生初期 0.6mL <200-300mL>	散布時の雑草発生 の調査を行う。 調査は処理後40-60 日に実施。	突・継 従 来 ど お り	[春夏作; (コウライソバ、ソシバ) 一年生雑 草] ・芝生初期、雑草発生初期 0.45~0.75mL<200-300mL>/㎡ ・茎葉兼土壌処理 [雑] ・倍量薬害試験での確認 (コウライソバ、ソシバ) ・連用薬害試験での確認 (コウライソバ、ソシバ) ・実証試験での確認 (コウライソバ、ソシバ) ・萌芽期薬害の確認 (コウライソバ、ソシバ) ・高温期薬害の確認 (コウライソバ、ソシバ) ・緑化木への影響の確認
27. アラクロル 乳 7-フェナメド 43%  [毎日産化学工業 理研ナール]	ソシバ	適用性 新規	高知GC	ねらい 雑草発生前(年次変動の確認) 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生(葉) 全般 多年生(株) - 多年生(葉) - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生初期、雑草発生前 0.6mL <200-300mL> 0.8mL <200-300mL> 1.0mL <200-300mL>	春期の雑草発生前 で処理 処理後60~90日 で調査。	突・継 従 来 ど お り	[春夏作; (コウライソバ、ソシバ) 一年生雑 草] ・芝生初期、雑草発生前 0.6~1.0mL<250mL>/㎡ ・土壌処理 [雑] ・芝生初期、雑草発生前 0.6~1.0mL<250mL>/㎡ 2回処理 ・土壌処理 注) 散布間隔は45~60日が目安 [春夏作; (オシダ・シタダ・ヤマト) 一年生雑 草] ・芝生初期、雑草発生前 0.6~1.0mL<200-300mL>/㎡ ・土壌処理 [雑] ・年次変動の確認(ソシバ、オシダ・シタダ・ヤマト) ・倍量薬害での確認(コウライソバ、ソシバ、オ シダ・シタダ・ヤマト) ・連用試験での確認(コウライソバ、ソシバ、オ シダ・シタダ・ヤマト) ・実証試験での確認(コウライソバ、ソシバ、オ シダ・シタダ・ヤマト) ・高温期薬害の確認(コウライソバ、ソシバ、オ シダ・シタダ・ヤマト) ・萌芽期薬害の確認(コウライソバ、ソシバ)
	クサツキ ア ブ ラ ス	適用性 新規	埼玉ケン742002	ねらい 雑草発生前(年次変動の確認) 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生(葉) 全般 多年生(株) - 多年生(葉) - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生初期、雑草発生前 0.6mL <200-300mL> 0.8mL <200-300mL> 1.0mL <200-300mL>	春期の雑草発生前 で処理 処理後60~90日 で調査。		

B. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・舊 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判定	判定内容
1. NCR-105 粒 7-フェナメド 0.5%  [日本農薬]	コウライソ バ	適用性 新規	関西G研 新中国G研 1福岡	ねらい 伸長抑制効果の確認 設計 薬量 (水量) /㎡ 全面土壌処理 芝生初期 10g 30g 40g	日本芝生初期に処理 薬剤処理後2~3週間 後に刈込を実施し、そ の後の調査。 草丈比較、刈り取り量 の調査を行う。 薬害の程度の調査を 行う。	継	[雑] ・効果、薬害の確認 (コウライソバ、ソシバ)
	ソシバ	適用性 新規	関西G研 新中国G研 1福岡	ねらい 伸長抑制効果の確認 設計 薬量 (水量) /㎡ 全面土壌処理 芝生初期 10g 30g 40g	日本芝生初期に処理 薬剤処理後2~3週間 後に刈込を実施し、そ の後の調査。 草丈比較、刈り取り量 の調査を行う。 薬害の程度の調査を 行う。		
	コウライソ バ	倍量薬害 新規	新中国G研 1福岡	ねらい 伸長抑制効果の確認 (倍量薬害試験) 設計 薬量 (水量) /㎡ 全面土壌処理 芝生初期 30g 40g 60g 80g	日本芝生初期に処理 薬剤処理後2~3週間 後に刈込を実施し、そ の後の調査。 草丈比較、刈り取り量 の調査を行う。 薬害の程度の調査を 行う。		
	ソシバ	倍量薬害 新規	新中国G研 1福岡	ねらい 伸長抑制効果の確認 (倍量薬害試験) 設計 薬量 (水量) /㎡ 全面土壌処理 芝生初期 30g 40g 60g 80g	日本芝生初期に処理 薬剤処理後2~3週間 後に刈込を実施し、そ の後の調査。 草丈比較、刈り取り量 の調査を行う。 薬害の程度の調査を 行う。		

B. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率 (%) 【密記名】	作物名	試験の 種別 新・従 の別	試験担当場所 ↳に試験中など (数)	ねらい	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
2. RGP-101 液 ベンゾトリアゾロン:2.0% 【密記名】	カンタキネ ブールーグ ラス	適用性 新規	東日本G研 鹿島前野科 新中国G研	ねらい (3)	スズノカビテラ出穂抑制効果 茎葉処理 スズノカビテラ出穂前～出穂始期 0.6mL×3回 <100～200mL> 0.9mL×3回 <100～200mL> 1.2mL×3回 <100～200mL>	初回散布はスズノカビテラ出穂前に開始し、20～25日間隔で3回連続処理する。 調査は全ての区において、1回処理後、2・3回処理前および3回処理後から約3週間後にスズノカビテラ出穂数を測定するなどして出穂抑制効果を確認する。 展着剤は加用しない。	実・従 来ど おり	実) [春夏作; (ベントグラス) スズノカビテラ出穂抑制] ・ 芝生育期 ・ スズノカビテラ出穂前～出穂始期 ・ 0.6～1.2mL <100～200mL>/㎡ 3回 (散布間隔は20～25日を目安) ・ 茎葉処理 従) 効果、悪害の確認 (カンタキネブールーグラス) ・ 2回処理後の効果、悪害の確認 (ベントグラス) ・ 倍量薬害試験での確認 (ベントグラス)
3. SYJ-201 フォファル パコブトリアゾロン:21.5% 【密記名】	コウライ ンバ	作用性 新規	植調研 J協同	ねらい (2)	コウラインバおよび雑草の草丈伸長抑制による刈込軽減効果 設計 薬量 <水量> /㎡ 0.25mL <100-300mL> 0.5mL <100-300mL> 0.75mL <100-300mL> 1mL <100-300mL> 1.5mL <100-300mL>	日本芝蒔後の処理をお願いします。 日本芝の草丈、一年生材料雑草および一年生広葉雑草の発生量・草丈、残効期間の確認をお願いします。 15日、30日、60日後の刈草量の測定による、刈込軽減効果の確認をお願いします。	実・従 来ど おり	実) [寒地型芝、生育抑制・刈込み省力] ・ 刈込み7日前～刈込み直後 ・ 0.4mL <300mL>/㎡ ・ 全面 (茎葉・土壌) 処理 従) [春夏作; (ベントグラス) スズノカビテラ出穂抑制] ・ 芝生育期 ・ スズノカビテラ出穂前 ・ 0.04～0.08mL <100～200mL>/㎡ ・ 茎葉兼土壌処理 従) 芝と雑草の草丈伸長抑制効果について (コウラインバ、ンバ) ・ スズノカビテラ密度軽減効果について (ベントグラス) ・ 倍量薬害試験での確認 (ベントグラス) ・ 適用薬害試験での確認 (ベントグラス)
	ンバ	作用性 新規	植調研 J協同	ねらい (2)	ンバおよび雑草の草丈伸長抑制による刈込軽減効果 設計 薬量 <水量> /㎡ 0.25mL <100-300mL> 0.5mL <100-300mL> 0.75mL <100-300mL> 1mL <100-300mL> 1.5mL <100-300mL>	日本芝蒔後に処理。 日本芝の草丈、一年生材料雑草および一年生広葉雑草の発生量・草丈、残効期間の確認を行う。 15日、30日、60日後の刈草量の測定による、刈込軽減効果の確認を行う。		
	コウライ ンバ	適用性 新規	関西G研 新中国G研	ねらい (2)	コウラインバおよび雑草の草丈伸長抑制による刈込軽減効果 設計 薬量 <水量> /㎡ 0.5mL <100-300mL> 0.75mL <100-300mL> 1mL <100-300mL> 1.5mL <100-300mL>	日本芝蒔後に処理。 日本芝の草丈、一年生材料雑草および一年生広葉雑草の発生量・草丈、残効期間の確認を行う。 15日、30日、60日後の刈草量の測定による、刈込軽減効果の確認を行う。		
	ンバ	適用性 新規	関西G研 新中国G研	ねらい (2)	ンバおよび雑草の草丈伸長抑制による刈込軽減効果 設計 薬量 <水量> /㎡ 0.5mL <100-300mL> 0.75mL <100-300mL> 1mL <100-300mL> 1.5mL <100-300mL>	日本芝蒔後に処理。 日本芝の草丈、一年生材料雑草および一年生広葉雑草の発生量・草丈、残効期間の確認を行う。 15日、30日、60日後の刈草量の測定による、刈込軽減効果の確認を行う。		